

地域ネットワークニュース

～平成27年1月の勉強会のお知らせ & 12月の勉強会報告～

第204回 地域ネットワーク勉強会

ビデオ上映会

「うつと生きる ある会社員の17年間」

1月22日(木)

午後7時～午後9時

神栖市保健・福祉会館内
参加費無料

人は誰でも、生活の中の様々な出来事をきっかけに、気持ちが落ち込んだり、憂うつな気分になったりすることがあります。しかし、このような気分は、その原因が解決したり、あるいは解決しなくても気分転換をしたり、時間が過ぎたりすることで自然に回復します。

ところが、原因が解決しても気分が改善しない、思い当たる原因がないのに眠れない、食欲がない一日中気分が落ち込んでいる、何をしても楽しめない…といった強い憂うつ感が長く続いて、普段通りの生活を送ることが難しくなっている場合は、うつ病の可能性がります。

今回の勉強会では「うつ病」についてのビデオを上映します。うつ病の症状と向き合う方の生活を通じて、うつ病の理解を深めながら、支援者や家族の関わりについて学びます。

※上映ビデオ「うつと生きる ある会社員の17年間」内容紹介

19歳の時、うつ病と診断されてからうつとともに生きてきた、ある会社員の17年間を証言によってたどります。うつ病の苦しさは人に分かってもらいにくく、自分で気づくことも難しい場合もあります。

病気に振り回されて自分らしい人生を見失いそうになることもあります。しかし、病気との付き合い方を見つけることで道が開けていきます。その葛藤の軌跡を本人、家族、友人、専門家が語ります。



お問い合わせ：神栖市社会福祉協議会 地域福祉推進センター 担当:三浦 電話 0299-93-0294



第203回 地域ネットワーク勉強会報告

平成26年12月4日開催

子どもの遊びと発達 ～感覚統合の視点から～

〈参加者57名〉

講師：根本浩則 氏（作業療法士）

茨城西南医療センター病院 リハビリテーション部

感覚統合とは、視覚・聴覚・味覚・嗅覚・触覚・前庭覚（バランス感覚、平衡感覚）・固有覚（筋肉、関節の感覚）などを整理したり統合したりする脳の働きです。

感覚統合が上手く機能しない場合に、【視線が定まらない】 【雑音に気をとられる】 【情緒が不安定】 【身体がうまく使えない】 【地に足がつかない】といったことが起きます。感覚統合療法は、このような子どもたちひとりひとりの「感覚の感じ方」に着目して治療的アプローチを行います。子ども達が「好きな感覚」「必要としている感覚」をお手伝いや遊びのなかでたくさん提供したり、「苦手な感覚」を少し軽減するなど、感覚面に配慮した環境の工夫も有効となります。

問題となる行動は目につきますが、その背景にある原因は見えにくく、理解されにくい場合があります。発達の送れや偏りがある子どもは、様々な困難性の背景に感覚統合の問題を抱えていることが多く、問題の背景にある原因を明確にする、すなわち子どもを理解することが本当の意味での支援につながります。